

1. 構造名：

換気金物・両面合成樹脂塗装繊維混入けい酸カルシウム板張／木製下地軒裏

2. 仕様の寸法：

仕様の寸法を表1に示す。

表1 仕様の寸法

項 目	仕 様
軒の出	130～300mm
軒の幅	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法
軒の形状	水平(軒勝ち)

3. 仕様の主構成材料：

仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 仕様の主構成材料

項 目	仕 様
軒天材	<p>材料：両面合成樹脂塗装／繊維混入けい酸カルシウム板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-2075)</p> <p>形状：</p> <p>1) 外形寸法 厚さ：14(±1.4)mm以上 働き幅：910mm以上</p> <p>2) 端部形状：①又は② ①突き付け ②合いじゃくり 重なり：9mm以上 隙間：1mm以下</p> <p>3) 面取り：①又は② ①なし ②あり 面取り寸法：3(±1.2)mm以下</p> <p>4) 表面形状：①又は② ①平滑 ②エンボス 容積欠損率：0.9(±0.1)%以下 密度：0.98(±0.2)g/cm³以上</p> <p>表面塗装：</p> <p>種類：1)～9)の一</p> <p>1) アクリルウレタン樹脂系塗料 2) アクリル樹脂系塗料 3) ウレタン樹脂系塗料 4) エポキシ樹脂系塗料 5) アクリルシリコーン樹脂系塗料 6) フッ素樹脂系塗料 7) 無機質系塗料 8) 上記1)～7)の組み合わせ 9) なし</p> <p>塗布量：200g/m²以下(有機質固形分量)</p>

つづく

つづき

換気金物	本体	材料：①又は② ①冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯(JIS G 4305) ②熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯(JIS G 4304) 厚さ：0.4mm以上 寸法：幅 68.4(±3)mm以上 高さ 14(±2)mm以上 長さ 908.5(±3)mm 断面形状：①又は② ①リブなし ②リブあり 換気孔の大きさ(1孔あたり)： 5(±1)×13.6(±1)mm以下 換気孔間隔：2(±1)mm以上 換気孔面積：176.8(±15)cm ² 以下 表面塗装： 種類：1)又は2) 1)ポリエステル樹脂系塗料 2)エポキシポリエステル樹脂系塗料 塗厚 200(±20)μm以下 取付位置：壁から30mm以上
	スペーサー	材料：①又は② ①冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯(JIS G 4305) ②熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯(JIS G 4304) 厚さ：2.0mm以上 寸法：15(-1)×15(-1)mm以上
	加熱発泡材	材料：グラファイト系加熱発泡材 組成(質量%)： 耐熱性繊維類 20(±5%) 特殊ゴムバインダー 15(±5%) 膨張性黒鉛 30(±5%) 粉末充填材(二酸化ケイ素等) 20(±5%) 難燃剤(リン酸系) 5(±5%) ゴム薬品 10(±5%) 寸法：幅 12.3(±1.2)mm以上 厚さ2.3(±0.3)mm以上
野縁		材料：日本農林規格の品質を満足する木材(製材、集成材、単板積層材又は枠組壁工法構造用製材若しくはたて継ぎ材) 断面寸法：一般部 30×40mm以上 軒天材目地部 30×40mm以上－2列 取付間隔：軒の出方向255mm以下 軒の幅方向455mm以下

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 仕様の副構成材料

項 目	仕 様
目地部材	<p>仕様：(1)又は(2)</p> <p>(1) なし(突き付け目地、又は合いじゃくり目地)</p> <p>(2) 金属ジョイナー目地</p> <p>材質：1)～19)の一</p> <p>1) 塗装/亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8697)</p> <p>2) 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3302)</p> <p>3) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3312)</p> <p>4) 溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3317)</p> <p>5) 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3318)</p> <p>6) 溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3321)</p> <p>7) 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3322)</p> <p>8) ポリ塩化ビニル被覆金属板(JIS K 6744、金属板のアルミニウム又はアルミニウム合金板は除く)</p> <p>9) 一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101)</p> <p>10) 冷間圧延鋼板及び鋼帯(JIS G 3141)</p> <p>11) 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯(JIS G 3131)</p> <p>12) 電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3313)</p> <p>13) 溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3314)</p> <p>14) 溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板(JIS G 3323)</p> <p>15) 熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯(JIS G 4304)</p> <p>16) 冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯(JIS G 4305)</p> <p>17) 溶融亜鉛－6%アルミニウム－3%マグネシウムめっき鋼板</p> <p>18) 溶融亜鉛－11%アルミニウム－3%マグネシウム－0.2%シリコン合金めっき鋼板</p> <p>19) ポリエチレン被覆溶融亜鉛めっき鋼板</p> <p>形状：H形又はT形</p> <p>厚さ：0.16mm以上</p>

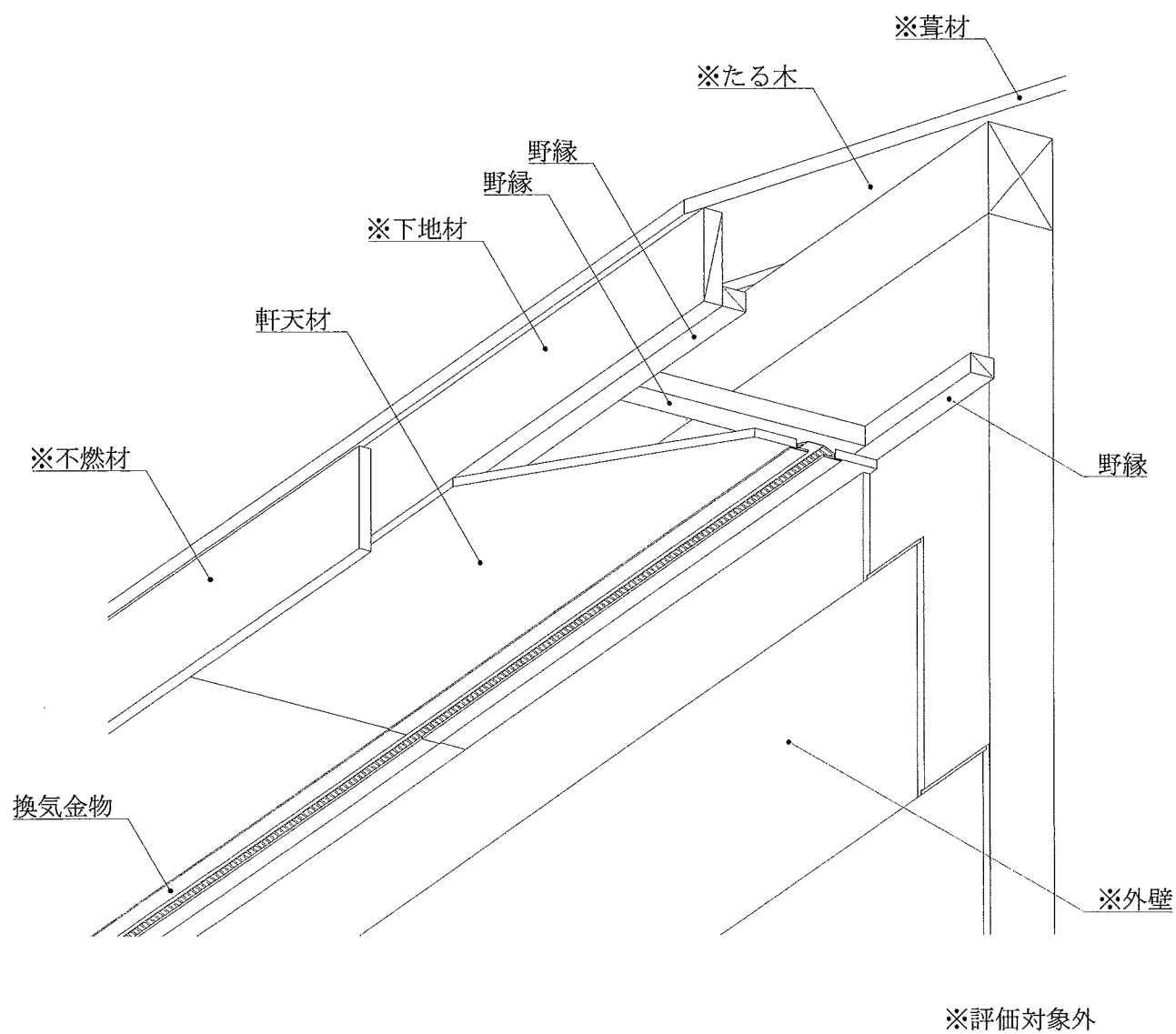
つづく

つづき

留付材	<p>換気金物固定用：</p> <p>材料：ねじ</p> <p>寸法：呼び径φ3.8×長さ38mm以上</p> <p>材質：ステンレス鋼製又は鋼製</p> <p>留付間隔：445.5mm以下</p>
	<p>軒天材固定用：</p> <p>材料：①、②又は③</p> <p>①リングくぎ</p> <p>②スクリークぎ</p> <p>寸法：胴部径φ2.3×長さ40mm以上</p> <p>③ねじ</p> <p>寸法：呼び径φ3.0×長さ40mm以上</p> <p>材質：ステンレス鋼製又は鋼製</p> <p>留付間隔：軒の出方向150mm以下</p> <p>軒の幅方向145mm以下</p>
	<p>野縁固定用：</p> <p>1) 軒元部</p> <p>材料：①又は②</p> <p>①くぎ</p> <p>寸法：胴部径φ3.75×長さ90mm以上</p> <p>②ねじ</p> <p>寸法：呼び径φ4.2×長さ90mm以上</p> <p>材質：ステンレス鋼製又は鋼製</p> <p>留付間隔：軒の幅方向455mm以下</p> <p>2) 軒先部</p> <p>材料：①又は②</p> <p>①くぎ</p> <p>寸法：胴部径φ3.05×長さ65mm以上</p> <p>②ねじ</p> <p>寸法：呼び径φ3.3×長さ65mm以上</p> <p>材質：ステンレス鋼製又は鋼製</p> <p>留付間隔：軒の幅方向455mm以下</p> <p>3) 中間部</p> <p>材料：①又は②</p> <p>①くぎ</p> <p>寸法：胴部径φ3.05×長さ65mm以上</p> <p>②ねじ</p> <p>寸法：呼び径φ3.3×長さ65mm以上</p> <p>材質：ステンレス鋼製又は鋼製</p> <p>留付間隔：軒の幅方向455mm以下</p>

5. 仕様の構造説明図：

仕様の構造説明図を図1～図4に示す。



透視図

図1 構造説明図

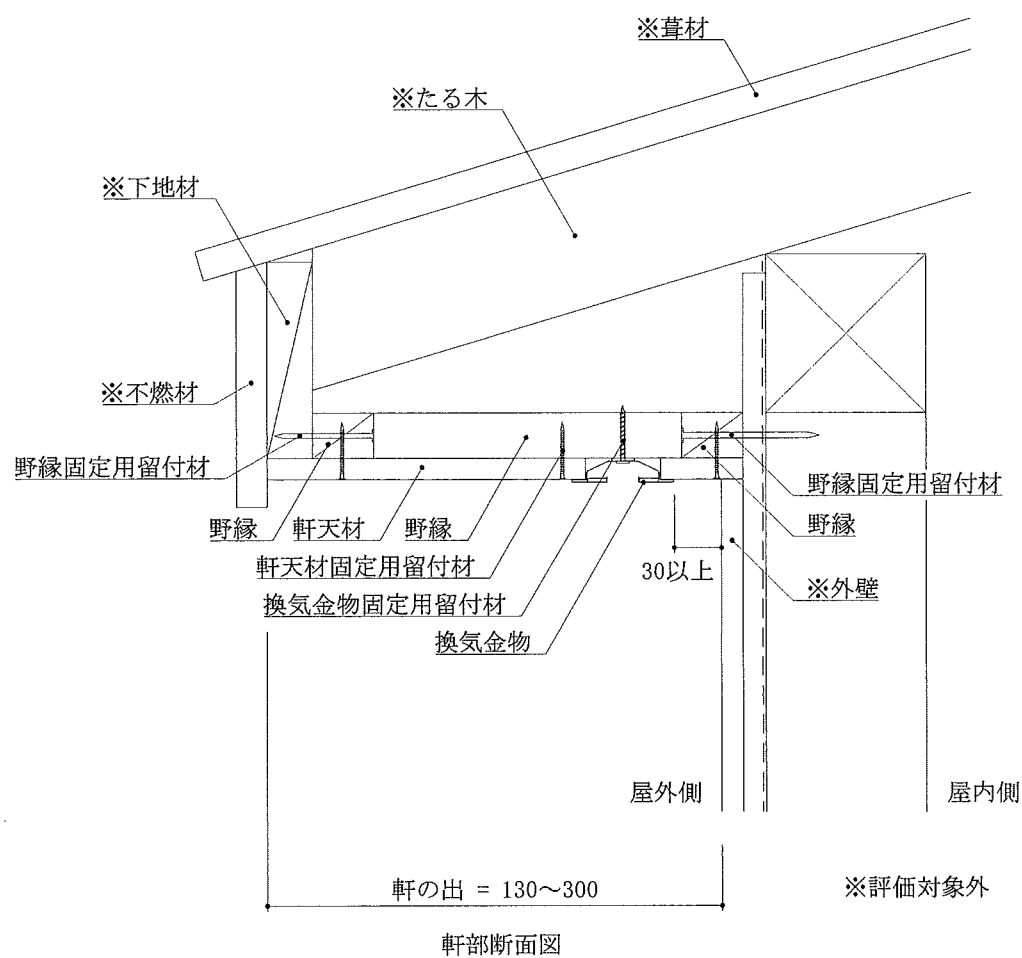
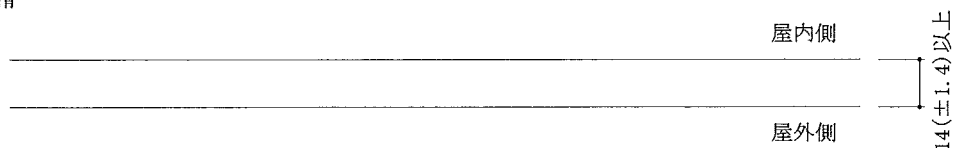


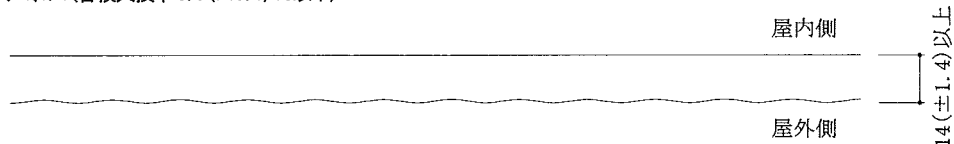
図2 構造説明図

軒天材の表面形状

①平滑



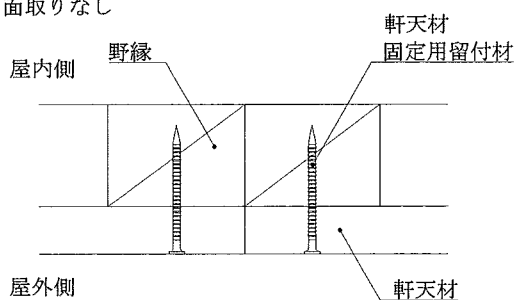
②エンボス(容積欠損率0.9(±0.1)%以下)



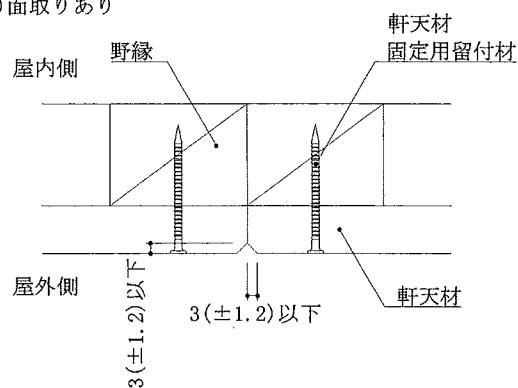
軒天材の目地形状

①突き付け目地

1)面取りなし

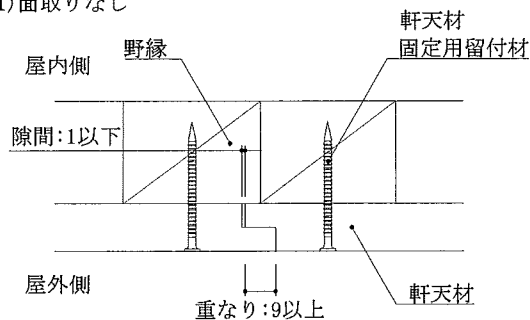


2)面取りあり

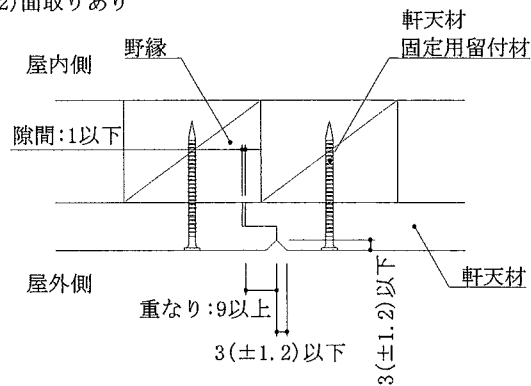


②合いじゃくり目地

1)面取りなし

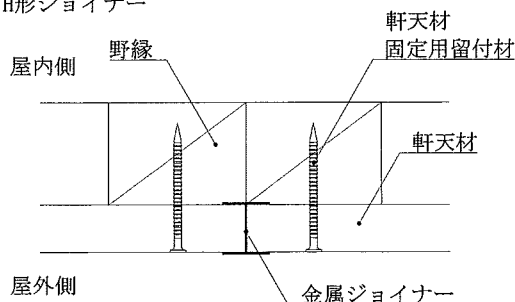


2)面取りあり



③金属ジョイナー目地

1)H形ジョイナー



2)T形ジョイナー

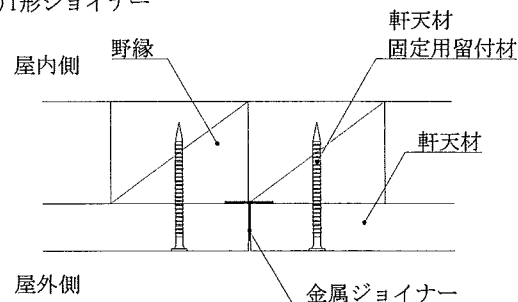
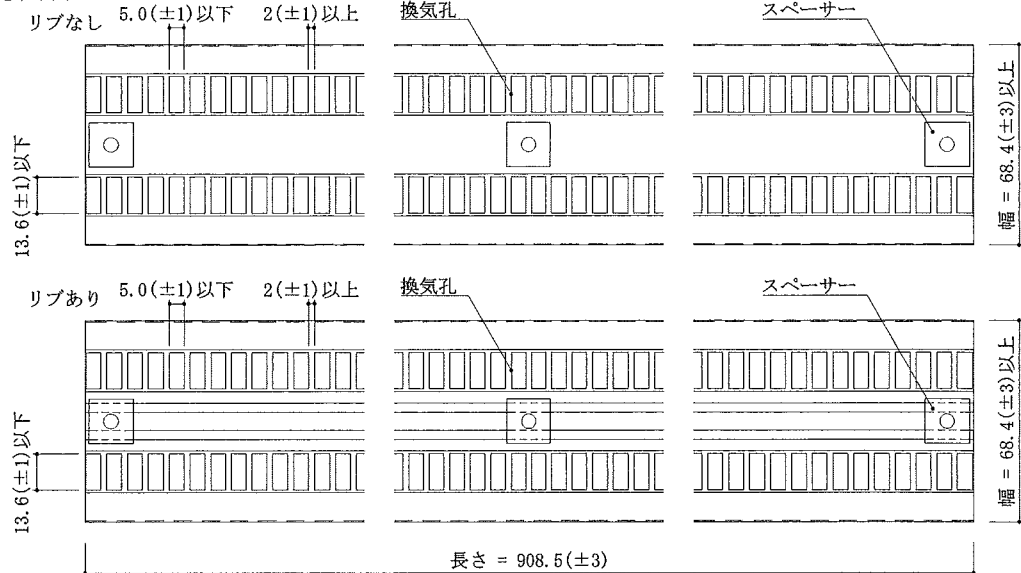


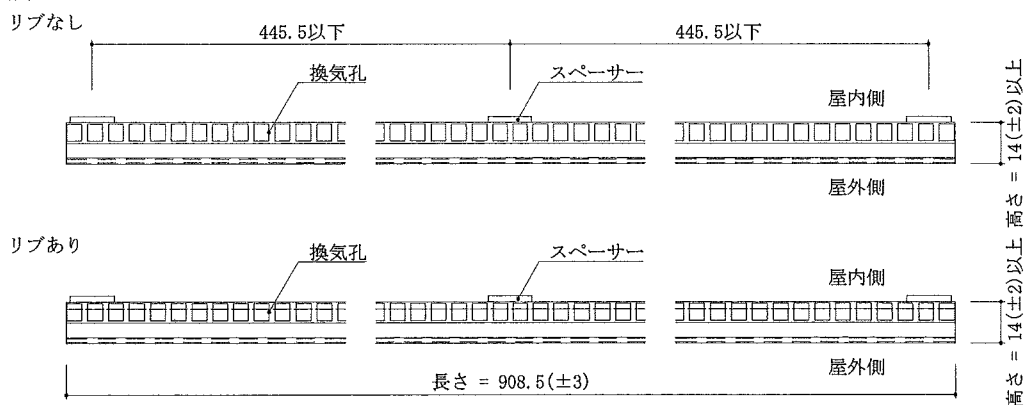
図3 構造説明図

換気金物形状図

見下げ図



正面図



断面図

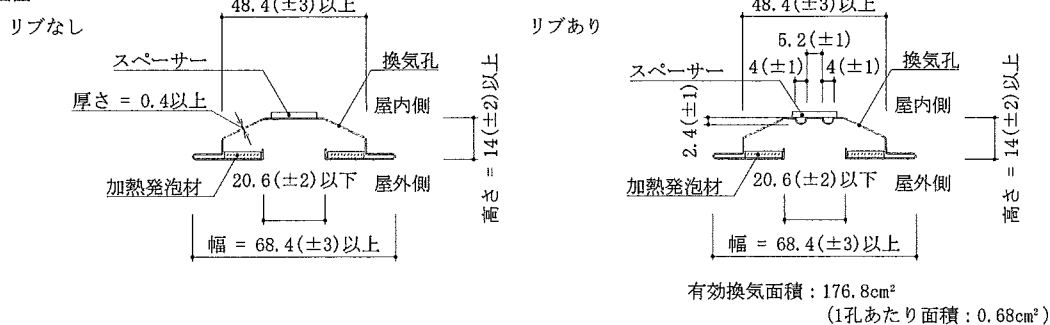


図4 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 野縁の取付け

- ・野縁は、野縁固定用(中間部)留付材を用いて、軒の出方向255mm以下、軒の幅方向455mm以下になるように格子に組む。
- ・軒元側の野縁は、下地材、たる木、壁躯体等に野縁固定用(軒元部)留付材を用いて取付ける。
- ・軒先側の野縁は、野縁固定用(軒先部)留付材を用いて木製下地材に取付ける。

(2) 軒天材の取付け

- ・軒天材は、軒天材固定用留付材を用いて野縁に固定する。
- ・軒天材目地は合いじゃくり、突き付け又は金属ジョイナー目地とし、軒の幅方向に配置した野縁の上に目地を設ける。
- ・軒天材と外装材は軒天材勝ちとし、必要に応じて金属製の木口見切り(評価対象外)又はシーリング材(評価対象外)等でおさめる。

(3) 換気金物の取付け

- ・換気金物は、換気金物固定用留付材を用いて野縁に固定する。換気金物は外壁面から30mm以上離れた位置に取付ける。
- ・換気金物を連続して使用する場合は、突き付けで配置する。
- ・換気金物の両端部は、必要に応じてエンドキャップを使用する。